

# 乳がん検診結果報告書

氏名			
生年月日		性別	

受診日	
健診ID	

## マンモグラフィ所見

--

## 視触診所見



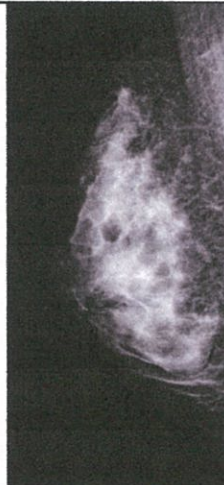
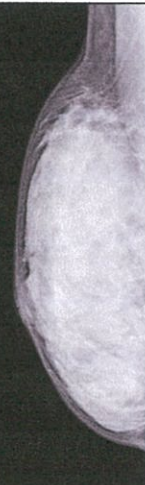
--

<b>判定</b>	

判定区分	A : 異常なし。
	C : 軽度の所見を認めます。年1回の検査をおすすめします。
	D2 : 異常が認められます。医療機関で精密検査をお受けください。
	D1 : 異常が認められます。医療機関で治療をお受けください。
	E : 現在の治療を続けてください。

## あなたの乳腺タイプについて

乳房内の乳腺組織が多いほど、マンモグラフィの撮影画像は白くなります。マンモグラフィ検査では、腫瘍も白く映ってしまうため、一般的に「不均一高濃度」と「高濃度」の乳腺タイプは、病変を見つけにくいとされています。

			
脂肪性	乳腺散在	不均一高濃度	高濃度
乳房はほぼ完全に脂肪に置き換えられている。病変が撮影範囲に入っていれば、検出は容易である。	脂肪に置き換えられた乳房内に乳腺実質が散在している。病変の検出は比較的容易である。	乳腺実質内に脂肪が混在し、不均一な濃度を呈する。病変が正常乳腺に隠される危険性がある。	乳腺実質内に脂肪の混在はほとんどなく(いわゆるdense breast)、病変検出率は低い。

マンモグラフィガイドライン 第3番増補版より引用  
画像提供:NPO法人 乳がん画像診断ネットワーク

## 乳腺タイプコメント

今回のマンモグラフィ検査にて、あなたの乳腺は「不均一高濃度」に該当することがわかりました。乳腺濃度の影響を受けない、超音波検査も併せて受診することを推奨いたします。